

| | |
|-----------------------|--------|
| 人口 | 約733万人 |
| 市町村数 | 63 |
| 面積 (km ²) | 約3,800 |

埼玉県 実証事業の概要 ①連携プラットフォーム (PF) の概要

目指す姿

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一層深刻化する孤独・孤立の問題について、官・民・NPO等が連携して総合的かつきめ細かな対策を推進し、孤独・孤立を予防する地域づくりを目指す

【会員】 県・市町村

役割 各分野が既存の支援体制を整備したうえで、孤独・孤立対策と予防に向け、包括的に取り組む。

【会員】 民間企業等

役割 事業を通じ活動場所や就労支援、資金支援等への協力などを行う。

埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

【会員】 NPO、社協、社会福祉法人等

役割 団体同士がつながり、既存の活動に「孤独・孤立」の横串を通し、取組の裾野を広げるきっかけとする。

【検証委員会（仮称）】

役割 助言、県PFの取組の検証を行う。

機能① 支援団体 (NPO等) への支援

当事者やその家族の目線に立った伴走支援のための体制整備
研修・シンポジウム等の開催、NPO等の先進的な取組の共有、他団体との連携、支援者に向けた情報発信、各種助成等の情報提供、民間団体からの各種支援の情報提供

機能② スティグマの 解消

支援を求める声を上げることは良いこと等の理解、機運の醸成
地域内の実態把握と相互理解、県SNSや各広報誌の活用などによる情報発信、啓発ツールの作成・配布

機能③ 連携支援

福祉、教育、医療、住民活動等他分野とのつながりづくりや市町村域に捉われない支援の確立
ポータルサイトの運営、デジタルマップの活用、地域別ワークショップの開催等、民間事業者とのマッチング

機能④ 市町村支援

各地域における当事者への直接支援や、NPO・社協等との連携体制の構築
トップセミナーの実施等による地域の体制づくりの支援、各自治体の取組等の広域的な情報発信

| | | |
|----------------------------|-----------------|-----------------------|
| 埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム参加団体 | 市町村：41団体 | 民間企業等：6団体 |
| | 市町村社会福祉協議会：17団体 | NPOや一般社団法人等の支援団体：30団体 |

※2023/3/7時点

PF形成の工夫①

県内市町村のPF参加促進

- 一部の市町村に意見聴取。また、市町村も検討委員会に参加し、声を取り入れてPFを構築。
- PF立ち上げ時に、県内市町村首長が参加するトップセミナーを開催。知事から連携を呼びかけ、宮本先生から孤独・孤立対策における市町村の重要性について講演。

PF形成の工夫②

県内支援団体（NPO等）のPF参加促進

県が検討したPFを複数の支援団体等が参加する検討委員会で諮り、決定していくプロセスとすることで、支援団体の声を取り入れながらPFを構築。さらに、埼玉県が呼びかけや場の設定を行い、NPOとの意見交換会も開催。

PF形成の工夫③

PF参加団体の選定

一見孤独・孤立対策と関連がないように思われる団体も含めて幅広い支援団体等がPFに参加しやすいように、PF参加要件は反社会的勢力でない等の最低限とした。

埼玉県 実証事業の概要 ②孤独・孤立対策の概要

2022年度に実施した孤独・孤立対策

目的 連携の必要性や声を上げていいということの啓発

埼玉県孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム トップセミナー・キックオフイベント

| | |
|-----|--|
| 時期 | 2023.2.9 |
| 対象者 | 【トップセミナー】県内市町村首長 【キックオフイベント】支援団体・県民 |
| 形式 | Zoom、Youtube（限定公開）による配信 （新型コロナウイルスの感染状況を踏まえオンラインでの開催） |
| 内容 | 【トップセミナー】 ・ 宮本先生基調講演「孤独・孤立対策における基礎自治体の役割」 ・ 県知事による連携の呼びかけ 【キックオフイベント】 宮本先生、大西連氏、ユージ氏、県知事によるトークセッション「なぜ、今孤独・孤立対策が必要なのか」 |
| 効果 | ・ キックオフイベントは約200人が参加。 |

目的 圏域別孤独・孤立の実態把握、必要な支援の検討材料

孤独・孤立実態調査

| | |
|-----|---|
| 時期 | 2022/11～2023/2 |
| 対象者 | 県民1,500人 |
| 概要 | ・ 住基台帳無作為抽出による県民に対する郵送及びWEBアンケート方式 ・ 国の「人々のつながりに関する基礎調査」と同一の設問に埼玉県独自の設問（場づくりニーズ把握等に関する設問）を追加 |

目的 孤独・孤立に関連する情報発信

埼玉県孤独・孤立対策ポータルサイト作成

- ・ 孤独・孤立対策ポータルサイト及びロゴの作成を作成。
- ・ 県民や支援団体向け情報提供及びPF会員の募集等を実施。



2023年度以降の活動計画

①デジタルマップ作成

- ・ 県内にある支援団体を把握し、概要や位置を整理したデジタルマップを作成。県民が支援を求める際に気軽に参照してもらうことを目的。

②ワークショップ・研修会等の開催

- ・ 孤独・孤立に関する理解や、PF参加者同士の横のつながり醸成、先進的な取組の把握等を目的とした各種取組の実施。

埼玉県 実証事業の概要 ③ 試行的事業の概要

| 試行的事業の名称 | 事業内容 | 期待される効果 | 実施時期 | 発注先 | 費用（税込） |
|-------------------|---|---|--------------------|--------------|---|
| 孤独・孤立実態調査 | 住民基本台帳の無作為抽出による県民1,500人に対するアンケート | <ul style="list-style-type: none"> 埼玉県内（圏域別）の孤独・孤立に関する実態の把握 今後必要な支援の検討材料 | 2022/11～ 2023/2 | サーベイリサーチセンター | 7,018千円 |
| ポータルサイト作成 | 埼玉県ホームページに孤独・孤立専用のポータルサイトを増設 | <ul style="list-style-type: none"> 孤独・孤立に関連する情報発信 連携プラットフォーム会員募集 | 2022/12～ 2023/2 | グローバルデザイン | 638千円 |
| トップセミナー・キックオフイベント | <p>【トップセミナー】 宮本教授による基調講演 【キックオフイベント】 トークセッション（宮本教授・大西参与・県知事・ユージ氏）</p> | <p>以下の情報を発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携プラットフォームで孤独・孤立の解決を目指すこと 市町村・関係機関の連携が重要であること 孤独・孤立で悩んでいることに声を上げてよいこと | 2023/2/9 | エクシード東京 | 4,307千円 ※発注先への支払いのほか、登壇者の謝金・交通費を含む |